

2月の最終週から朝のくしゃみ連発が始まりました。3月に入った途端暖かさは急上昇で、いよいよマスクが手放せない季節がやってきました。聞けば今年のスギ等の花粉飛散量は昨年との2倍とか…。洗濯物を干しているとあちらこちらのお宅から盛大なくしゃみが聞こえて来ます。

後藤健太より

前号で「自然栽培で育てた農産物は旨い」と書きましたが、何故旨いのかを少し補足します。

農法は肥料や堆肥、農薬の使用量や使用方法によって慣行、有機、自然の3つに大別されます。肥料や堆肥、農薬を全く使用しない方法を自然栽培と言います。では、農薬も肥料もやらなければ自然栽培なのかというとそうではありません。農薬と肥料に汚染された畑は解

毒して自然な状態まで戻してやる必要があります。健康な土壌で健康的に健康な野菜を育てる、それが自然栽培です。

この自然栽培で育てた野菜はエグみが少なく喉をすつと通過するすっきりした味わいが特徴です。これを美味しいと感じるかどうかは脳の判断によるのですが、人によって体調によってその時美味しいと感じるものが変わるように、

美味しさをこれと一元的に定義することはできません。

自然栽培の野菜はよく身体が悦ぶと言われたり、野菜嫌いにも食べられる、食べると元気になるなどと言われたりします。食という漢字は「人を良くする」と書きますから、自然に近いものほど身体への負担が少なく抵抗なく受け入れられる、そういうことだと思います。(太)

クラウドファンディング スタート!

農家が経営する茨城で初のマイクロブリュワリー「パラダイス・ビア・ファクトリー」が世に送り出す新酒「弥栄(いやさか)」のクラウドファンディングがサイバーエージェントの「Makuake」にてスタートします。

弥栄とは「益々栄える」という意味で、万歳と同じように使われたり、鹿島神宮では乾杯の意味でも使われるおめでたい言葉です。

パラダイスビアの原料は運営組織である鹿嶋パラダイスで作られます。すべてのビールに鹿嶋パラダイスが作る自然栽培の原料が使われていますが、実は使用比率が微妙に異なります。「弥栄」が特別なのは、正真正銘100%自家製自然栽培原料を使用したプレミアムビールだからです。単なる自家醸造ではなく、クラフトビールの原点に帰り、これぞ真の「地ビール」をつくらうというのが「弥栄(いやさか)」のスピリットです。

この精神性に共感し、飲んでみたいと思われた方はクラウドファンディングに是非御協力ください!(太)

蒔かぬ種は生えぬ

いつの頃からか、この言葉に背中を押されて躊躇していた物事の一步を踏み出すようになりました。

春。始まりの季節です。自宅からそう遠くない場所に、畑を借りられることになりました。

この慌ただしい日々土を耕すなんて出来るのか? 考えに考えて決めました。4月から、文字通り種を蒔いて野菜を育てます。「蒔かない種は芽が出ない」と自分の背中を押して、社長の夢に向かってまた一步踏み出しました。(仁)

ようこそ太仁亭 (tajin - tei) へ!

この冬、太仁亭では自家ブレンドティーを毎日のお茶として楽しみました。

縁あってお世話になっている漢方薬局で出会ったのが、そのお店オリジナルのブレンドティー「快福茶(かいふくちゃ)」でした。ハトムギ等12種類の生薬をブレンドしたお茶です。これを買った時、「板藍根(ばんらんこん)」という生薬も薦められました。この板藍根は多くのウィルスの働きを抑制する作用があるそうで、快福茶一包に対し小さじ一杯加えて煮出せばよいとのことでした。

様々な感染症が心配な時期でしたので、早速煮出して食卓に上げましたが、お豆ちゃんは一服しか飲みません。そこで、いつもの麦茶を小

さじ2杯加えて煮出してみましたら、いつも通り飲んでくれました。そんなわけで、快福茶+板藍根茶+麦茶という自家ブレンドティーが出来上がりました。

さて、この板藍根入りのお茶が功を奏したのか、お豆ちゃんが大きくなって病気に強くなったのか、私の通勤がなくなってウィルスと接する危険や疲労が減ったせいなのか…要因は様々あると思いますが、この秋冬にお豆ちゃんは保育園を休むような病気には感染しませんでした。保育園で猛威を振るっていたインフルエンザにも! 太仁亭では、この板藍根入りのブレンドティーのお陰と感謝し、今後も感染症の季節が巡って来たら楽しみたいと思っています。(仁)

今月のお豆ちゃん

2月下旬、お豆ちゃんは初めて海へ行きました。波の音、海風、砂浜での貝殻拾い、暮れ行く夕焼け空等々…肌で感じた初めての広い海。この二日間の三浦の旅では、お豆ちゃんにとっての「初めて」が他にも沢山ありました。桃色の河津桜、三浦大根の煮物に大根おろし、エビやタコのでんぶら、お寿司屋さんで頂く厚焼き玉子に納豆巻き、揚げたてのアジフライにイカフライ…と、ここまで書いて気付いたら、主に美味しい物を堪能した二日間でした(笑)。食べっぷりの良さは保育園でも評判です。(仁)



嵐のような2月

他の月より3日ほど短い2月は毎年慌ただしく過ごしていますが、今年は特にやるべきことが多く、1分1秒が貴重でした。毎月第1月曜日が発行日であるこの満福通信も、いつも以上に発送が遅れて、そしてこの3月号も発行日に取りまわしているという有様。「時は金なり」をいつも以上に感じた2月でした。(仁)

編集者: 後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日: 2018.3.5 啓費(けいちつ)

費虫啓戸(すごもりむしとをひろく)

発行所: 株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

http://ccore.co.jp/

過去号: ウェブサイト↑からご覧頂けます。